

簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示
(建築のためのサービスその他の技術的サービス (建設工事を除く))

次のとおり企画提案書の提出を招請します。

平成21年6月11日

分任支出負担行為担当官

中部地方整備局 名四国道事務所長 村松 千明

1. 業務概要

(1) 業務名 平成21年度 153号豊田北BP矢作川橋検討業務 (電子入札対象案件)

(2) 業務内容

本業務は、国道153号豊田北バイパスの矢作川橋の建設に伴い影響が想定される範囲における河川環境の現況把握、架橋による影響要因の検討及び流況解析や模型実験等による橋脚影響等の検討を実施するものである。

また、検討に必要となる橋梁の概略検討、景観検討及び検討会の資料作成を行うものである。

(3) 履行期間 契約締結日の翌日から平成22年3月26日まで

(4) 入札方式等

本手続きは、参加表明書及び企画提案書を同時に提出するものである。

本業務は資料提出、見積書提出を電子入札システムで行う対象業務である。

電子入札システムで利用できるICカードは、代表者又は入札・見積権限及び契約締結権限について年間委任状により委任を受けた者のICカードのみである。

なお、電子入札システムによりがたい者は、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に変えることができる。

2. 企画提案書の提出者として選定されるために必要な要件

企画提案書の提出者は、以下に示す参加表明者に関する要件及び業務実績等に関する要件を満たす全ての者を選定する。

なお、企画提案書の提出者として選定したものには、選定通知書を電子入札システムにより通知する。ただし、紙入札方式による参加者については書面により通知する。

(1) 基本的要件

参加表明書を提出する者は、次の1)に掲げる資格を満たしている単体企業又は2)に掲げる資格を満たしている設計共同体であること。

1) 単体企業

① 予算決算及び会計令 (昭和22年勅令第165号) 第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

② 中部地方整備局 (港湾空港関係を除く) における土木関係建設コンサルタン

ト業務に係る平成21・22年度の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。

③中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。

※ ②に掲げる一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていないものも参加表明書及び企画提案書を提出することができるが、その者の企画提案書が特定されるためには、選定の時までには、当該資格の認定を受けていなければならない。

2) 設計共同体

1) に掲げる条件を満たしている者により構成される設計共同体であって、「競争参加者の資格に関する公示」（平成21年6月11日付け 中部地方整備局長）に示すところにより中部地方整備局長から平成21年度 153号豊田北BP矢作川橋検討業務に係る設計共同体としての競争参加者の資格（以下「設計共同体としての資格」という。）認定を受けている者であること。

なお、設計共同体で参加する場合、管理技術者は設計共同体の代表者から配置されていること。

(2) 参加表明者の業務実績等に関する要件

参加表明書を提出する者（以下、「参加表明者」という。）は、平成11年度以降に完了した以下に示す同種又は類似業務において、1件以上の実績を有していること。ただし、業務実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の業務は実績として認めない。

なお、設計共同体による実績の場合、分担業務の実績を実績として認める。

同種業務：河川の模型実験を実施した橋梁検討又は同橋梁予備設計

類似業務：河川の流況解析を実施した橋梁検討又は同橋梁予備設計

(3) 配置予定管理技術者の資格に関する要件

配置予定管理技術者については以下に掲げる資格等のいずれかを有すること。

なお、外国資格を有する技術者（わが国及びWTO政府調達協定国その他建設市場が開放的であると認められる国等の業者に所属する技術者に限る。）については、あらかじめ技術士相当又はRCCM相当との国土交通大臣認定（総合政策局建設振興課）を受けている必要がある。

また、参加表明書の提出期限までに当該認定を受けていない場合にも参加表明書を提出することができるが、この場合、参加表明書提出時に当該認定の申請書の写しを提出するものとし、当該業者が選定を受けるためには選定通知の日までに大臣認定を受け、認定書の写しを提出しなければならない。

技術士（建設部門又は総合技術監理部門）、土木学会が認定した特別上級技術者（鋼・コンクリート）、上級技術者（橋梁）、1級技術者（橋梁）、RCCM（RC

CMと同等の能力を有する者も含む）（鋼構造及びコンクリート部門）のいずれかの資格を有している者又はこれらと同等と認められる者であること。

なお、これらと同等と認められる者とは次のとおりである。

- ・ 関連分野の論文により学位を取得した工学博士
- ・ 関連分野の著述、論文、委員会活動、その他顕著な業務実績があり、総合評価審査委員会等の専門家から適格と認められた者
- ・ 関連分野の20年以上の実務経験と十分な業務実績があり、総合評価審査委員会等の専門家から適格と認められた者
- ・ これらと同等と認められる関連資格の取得者（筆記試験、面接試験など適切な試験方法もより認定されたものに限る）

※ R C C Mと同等の能力を有する者とは、R C C M資格試験に合格しており、転職等により登録が出来ない立場にいる技術者をいう。

※ 関連分野の著述、論文、委員会活動、その他顕著な業務実績又は関連分野の20年以上の実務経験と十分な業務実績を配置予定管理技術者の資格として競争参加資格確認申請書等を提出する場合は、経歴書及び著述、論文、委員会の活動内容又は業務実績の概要及びその際の立場と役割を記載した概要書を提出すること。

※ 関連分野の20年以上の実務経験とは、受発注者の立場に関係なく、関連分野において20年以上の実務経験があり、指導的立場の経験を有する者とする。

なお、指導的立場とは受注者であれば管理技術者、発注者であれば管理職相当とする。

※ 十分な業務実績とは、例えば請負実績の場合、関連する分野の業務において、管理技術者として10件以上の経験を有する者とする。

（4）配置予定管理技術者の業務実績に関する要件

配置予定管理技術者は、平成11年度以降に完了した以下に示す同種又は類似業務において1件以上の実績を有していなければならない。ただし、業務実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の業務は実績として認めない。

業務実績は、受発注者の立場で行った請負業務の実績のほか、関連する調査、計画、研究、企画、設計、分析、評価、著述等の具体的な業務を同種又は類似業務として認める。

同種業務：河川の模型実験を実施した橋梁検討又は同橋梁予備設計

類似業務：河川の流況解析を実施した橋梁検討又は同橋梁予備設計

(5) 配置予定管理技術者の手持ち業務に関する要件

平成21年6月11日現在の手持ち業務量（特定後未契約のものを含む）の契約金額合計が4億円未満かつ手持ち業務の件数が10件未満である者。

なお、全て手持ち業務とは管理技術者、照査技術者、担当技術者として従事している契約金額が500万円以上の業務をいう。

(6) 企画提案書に関する要件

参加表明者は、次の事項について企画提案書を提出すること。

- ①実施方針
- ②業務実施体制
- ③特定テーマ

本業務において技術提案を求める特定テーマは、以下に示す事項である。

- 1) 複雑な地形で流況解析を行う上で留意すべき事項の提案
- 2) 架橋条件として複合的な調整を要する橋梁計画で留意すべき事項の提案

(7) 業務実施体制に関する要件

参加表明書に示される業務実施体制に関し、次の事項に該当しないこと。

- ・再委託の内容が主たる業務の場合。
- ・業務の分担構成が、不明確又は不自然な場合。
- ・設計共同体による場合に、業務の分担構成が細分化されすぎている場合、一の分担業務を複数の構成員が実施することとしている場合。

3. ヒアリング

ヒアリングは、企画提案審査後に実施するものとする。

- (1) 実施場所：中部地方整備局 名四国道事務所
- (2) 実施日時：平成21年7月23日 ～ 平成21年7月24日
- (3) ヒアリングの日時は協議の上、決定する。
- (4) ヒアリングの時間、留意事項等は別途通知する。
- (5) ヒアリング時の追加資料は受理しない。
- (6) ヒアリングは配置予定管理技術者に対して行うものとし、配置予定管理技術者以外の出席は認めない。

4. 企画提案書を特定するための評価基準

- (1) 企画提案書の記載内容及びヒアリングでの聞き取り内容において、次の項目に該当し、業務が適切に履行できないと判断される場合は特定しない。

①企画提案書の非特定事項

- ・内容が殆ど記載されておらず、提案内容が判断できない
- ・業務目的に反する記述や事実誤認等適切な業務執行が妨げられる内容となっている
- ・実施方針と特定テーマの技術提案に矛盾等があり、整合性が図られていない

②ヒアリングの非特定事項

- ・技術者自身の業務実績について説明できない等自ら主体的に携わったことが認められない
- ・本業務の目的、内容又は技術提案の内容を理解していない
- ・質問に対する回答が全くない、若しくは回答が著しく不適切

(2) 評価項目

①基本事項（企業）

業務実績、企業信頼度（指名停止等の措置）

②基本事項（技術者）

業務実績

③企画提案書

実施方針、業務実施体制、特定テーマに対する技術提案

④ヒアリング

業務実績及び専門技術力、取り組み姿勢及び技術対話力

5. 入札手続等

(1) 担当部局

〒467-0847 名古屋市瑞穂区神穂町5番3号
国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 調査課
電 話 052-823-7917
FAX 052-811-1169
メールアドレス：meishi@cbr.mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

平成21年6月11日から平成21年7月10日までの期間、「電子入札システム」又は国土交通省中部地方整備局ホームページ（以下「HP」という。）に掲載した説明書をダウンロードすることにより交付する。

HPアドレス：<http://www.cbr.mlit.go.jp>

「企業と自治体」－「入札・契約情報」－「測量・建設コンサルタント等業務」－「入札公告、揭示文、入札説明書、技術資料作成要領」の順で検索のこと。

なお、企画提案書作成についての参考資料や見積りに必要な特記仕様書（案）等は、「電子入札システム」により交付する。

ただし、やむを得ない事情で「電子入札システム」による交付を受けることができない場合は、5.（1）の担当部局まで連絡し指示に従うこと。

(3) 参加表明書及び企画提案書の提出期間並びに提出先及び方法

電子入札システムにより提出すること。

ただし、紙入札方式による提出の場合は、1部を持参若しくは郵送（書留郵便に限る。）すること。電送又は電子メールは受け付けない。

提出期間：平成21年6月12日から平成21年7月13日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、10時00分から16時00分まで（紙入札方式による提出の場合も同じ。）。

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、参加表明書及び企画提案書の容量が3MBを超える場合には、郵送（書留郵便に限る。）又は電送で提出すること。郵送又は電送で提出する場合には、必要書類の一式を郵送又は電送で送付するものとし、電子入札システムとの分割は認めない。また、郵送又は電送にて提出する場合は、下記の内容を記載した書面を電子入札システムにより参加表明書として送信すること。

- （ア）郵送又は電送する旨の表示
- （イ）郵送又は電送する書類の目録
- （ウ）郵送又は電送する書類のページ数
- （エ）発送年月日

提出先：5. 1) と同じ。

ファイル形式：電子入札システムによる参加表明書及び企画提案書のファイルの形式については、以下のいずれかの形式にて作成とする。

- ・一太郎 2007 以下
- ・Microsoft Word2002 以下
- ・Microsoft Excel2002 以下
- ・その他アプリケーション PDFファイル Acrobat6.0 以下
画像ファイル JPEG及びGIF形式
圧縮ファイル LZH形式

留意点：複数の申請書類は、すべてを1つのファイルにまとめ、契約書等印があるものや図面等については、スキャナ等で読み込み本文に貼付けること。

7. その他

- （1）手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- （2）契約保証金 免除
- （3）契約書の作成の要否 要
- （4）当該業務に直接関連する他の設計業務の委託契約を当該業務の委託契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無 無
- （5）関連情報を入手する為の照会窓口 5. 1) に同じ。
- （6）参加表明書提出期限から見積合わせの日までの間に中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けた場合は、非特定又は特定の取消の手続きを行うこととする。なお、見積合せの日は平成21年8月7日を予定している。
- （7）本案件は資料提出、見積書提出を電子入札で行うものであり、対応についての詳細については、説明書による。

8 . Summary

- (1) Subject matter of the contract : The 153rd Toyota north BP Yahagigawahashi examination business.
- (2) Time-limit to express interests : 4:00 P.M. 13 July 2009
- (3) Time-limit for the submission of Proposal : 4:00 P.M. 13 July 2009
- (4) Contact point for documentation relating to the proposal : Meishi National Highway Office, Chubu Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 5-3, Kamiho-cho, Mizuho-ku, Nagoya-shi, Aichi-ken, 467-0847 TEL 052-823-7917